

平成 28 年度

簡易水道事業特別会計

主要施策成果の報告書

京都府 木津川市

目 次

決算の概要

1. 決算規模・決算収支	1
2. 歳 入	1
3. 歳 出	2

決算の状況

1. 歳 入	4
2. 歳 出	4

主要施策の成果

1. 歳 入	5
2. 歳 出	7
3. 業 務 量	9
4. 市債状況	9
5. 基金状況	9

平成28年度 簡易水道事業特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支

(1) 決算規模

平成 28 年度の決算規模は、

歳入 151,576 千円 (前年度 272,350 千円)

歳出 145,195 千円 (前年度 270,031 千円)

となり、決算規模の対前年度比較は、歳入が 120,774 千円、44.3%の減、歳出が 124,836 千円、46.2%の減とそれぞれ前年度を下回った。

また、平成 29 年 4 月 1 日の簡易水道事業の水道事業への統合により、簡易水道事業特別会計は出納整理期間のない平成 29 年 3 月 31 日までの打ち切り決算となり、歳入歳出差引残高 6,381 千円、未収金 4,921 千円、未払金 761 千円を水道事業会計に引き継いだ。

(2) 決算収支

*実質収支

平成 28 年度の歳入歳出差引額 (形式収支) は、6,381 千円で翌年度に繰越すべき財源はないため、実質収支の額も 6,381 千円となり、前年度より 4,062 千円の増となった。

*単年度収支

今年度の実質収支 (6,381 千円) から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、4,062 千円となり、前年度より 4,172 千円の増となった。

*実質単年度収支

今年度の単年度収支 (4,062 千円) に加える基金の積立金がないため、基金の取り崩し額 (5,315 千円) を差し引いた実質単年度収支は、△1,253 千円となった。

2. 歳入

平成 28 年度の歳入総額は、151,576 千円となり、前年度と比較すると 120,774 千円、44.3%の減となった。歳入の概要は、次のとおりである。

使用料及び手数料 21,678 千円は、水道使用料等であり、前年度と比較すると 1,826 千円、7.8%の減となった。

国庫補助金 13,959 千円は、管路改修工事に要した費用の国庫補助分であり、前年度と比較すると 21,227 千円、60.3%の減となった。

繰入金 47,384 千円は、一般会計繰入金 41,497 千円、水道事業会計繰入金 572 千円、財政調整基金繰入金 5,315 千円であり、前年度と比較すると 10,424 千円、18.0%の減となった。

繰越金 2,319 千円は、前年度繰越金であり、前年度と比較すると 110 千円、4.5%の減となった。

諸収入 10,036 千円は、消費税還付金等であり、前年度と比較すると 9,813 千円、4,396.5%の増となった。

市債 56,200 千円は、管路改修工事に要した費用に伴う起債であり、前年度と比較すると 97,000 千円、63.3%の減となった。

3. 歳 出

平成 28 年度の歳出総額は、145,195 千円となり、前年度と比較すると 124,836 千円、46.2%の減となった。歳出の概要は、次のとおりである。

総務管理費は、総額 9,590 千円で、主なものは上水道への維持管理事務負担金 9,017 千円であり、前年度と比較すると 2,156 千円、18.4%の減となった。

給水事業費は、総額 89,163 千円で、主なものは光熱水費 3,352 千円及び修繕料 3,083 千円であり、前年度と比較すると 2,197 千円、21.7%の減となった。

基幹改良費は、総額 81,229 千円で、主なものは管路改修工事費 81,199 千円であり、前年度と比較すると 122,096 千円、60.0%の減となった。

公債費は、総額 46,442 千円で、簡易水道事業債の元金及び利子償還金であり、前年度と比較すると 2,828 千円、6.5%の増となった。

基金費は、簡易水道事業の財政調整基金への積立金であり、今年度の支出はなく、前年度と比較すると 1,215 千円、皆減となった。

債権放棄報告書

木津川市債権管理条例第14条第1項の規定により、次の債権を放棄しましたので、同条例第14条第2項の規定により報告します。

【平成28年度債権放棄調書】

債権の名称	放棄した債権額	権利放棄した事由	件数(人)
水道使用料	—	第1号(生活保護・生活困窮者等)	—
	—	第2号(破産等)	—
	2,342,014円	第3号(時効経過)	39人
	—	第4号(死亡・行方不明者)	—
合計	2,342,014円		39人

【平成28年度債権放棄調書】

債権の名称	放棄した債権額	権利放棄した事由	件数(人)
メーター使用料	—	第1号(生活保護・生活困窮者等)	—
	—	第2号(破産等)	—
	19,619円	第3号(時効経過)	39人
	—	第4号(死亡・行方不明者)	—
合計	19,619円		39人

簡易水道事業特別会計 決算の状況

1. 歳 入

(単位：円、%)

項 目	平成28年度決算額 ①	平成27年度決算額 ②	増減 ①－②	増減率
使用料及び手数料	21,678,370	23,504,062	△ 1,825,692	△ 7.8
国庫支出金	13,959,000	35,186,000	△ 21,227,000	△ 60.3
財産収入	0	0	0	0.0
繰入金	47,383,717	57,807,819	△ 10,424,102	△ 18.0
繰越金	2,319,270	2,428,674	△ 109,404	△ 4.5
諸収入	10,036,113	223,200	9,812,913	4,396.5
市債	56,200,000	153,200,000	△ 97,000,000	△ 63.3
合 計	151,576,470	272,349,755	△ 120,773,285	△ 44.3

2. 歳 出

(単位：円、%)

項 目	平成28年度決算額 ①	平成27年度決算額 ②	増減 ①－②	増減率
総務費	9,590,598	11,745,988	△ 2,155,390	△ 18.4
事業費	89,162,866	213,455,590	△ 124,292,724	△ 58.2
公債費	46,441,719	43,613,907	2,827,812	6.5
諸支出金	0	1,215,000	△ 1,215,000	△ 100.0
予備費	0	0	0	0.0
合 計	145,195,183	270,030,485	△ 124,835,302	△ 46.2

主要施策の成果

1. 歳入

1款 使用料及び手数料

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 使用料	23,176,000	21,678,370	0
	前年度決算額	23,504,062	前年度比増減額 △ 1,825,692

水道使用料（現年度分）として21,233,275円、水道使用料（過年度分）として442,540円、メーター使用料（過年度分）として2,555円の収入があった。前年度からの減額となった主な要因は、簡易水道事業の水道事業への統合により、平成29年3月31日までの打ち切り決算となったため、平成29年3月分の水道使用料が平成28年度分の歳入とならなかったためである。

また、平成28年度末の給水人口は、1,567人であり、前年度末と比較すると24人、1.5%の減となった。

2款 国庫支出金

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 国庫補助金	13,959,000	13,959,000	0
	前年度決算額	35,186,000	前年度比増減額 △ 21,227,000

老朽水道管布設替工事跡の舗装復旧工事に要した費用の国庫補助分である。

3款 財産収入

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 財産運用収入	1,000	0	0
	前年度決算額	0	前年度比増減額 0

ペイオフ対策として、財政調整基金を決済用預金で全額保護したため、無利子となった。

4款 繰入金

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 一般会計繰入金	41,499,000	41,497,177	0
	前年度決算額	51,336,364	前年度比増減額 △ 9,839,187

一般会計から、消火栓の維持管理等のために165,177円、基幹改良事業のために11,069,900円、元金償還金のために17,381,812円、利子償還金のために7,598,269円、一般管理事業のために5,282,019円を繰り入れた。

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	
2項 水道事業会計繰入金	571,000	571,365	0	
	前年度決算額	471,455	前年度比増減額	99,910

上水道への分水代金として、水道事業会計から571,365円を繰り入れた。

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	
3項 基金繰入金	5,315,000	5,315,175	0	
	前年度決算額	6,000,000	前年度比増減額	△ 684,825

水道事業への統合に伴い簡易水道事業が廃止となるため、財政調整基金の全額5,315,175円を繰り入れた。

5款 繰越金

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	
1項 繰越金	2,319,000	2,319,270	0	
	前年度決算額	2,428,674	前年度比増減額	△ 109,404

前年度繰越金として2,319,270円の収入があった。

6款 諸収入

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	
1項 受託事業収入	6,000	10,000	0	
	前年度決算額	18,000	前年度比増減額	△ 8,000

口径変更に伴う設計審査及び検査手数料として10,000円の収入があった。

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	
2項 雑入	4,707,000	10,026,113	0	
	前年度決算額	205,200	前年度比増減額	9,820,913

口径変更の加入金1件分として226,800円、消費税還付金等として9,796,794円、不納欠損分の過年度水道料金として2,519円の収入があった。

7款 市債

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 市債	56,200,000	56,200,000	0
	前年度決算額	153,200,000	前年度比増減額 △ 97,000,000

老朽水道管布設替工事跡の舗装復旧工事に要した費用に伴う起債である。
地方公共団体金融機構から56,200,000円（利率年0.6%、30年元金均等償還）を借入れた。また、据置期間なしで借入れすることにより、後年度の利子負担を軽減した。

2. 歳出

1款 総務費

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 総務管理費	10,111,000	9,590,598	0	520,402
	前年度決算額	11,745,988	前年度比増減額	△ 2,155,390

一般管理事業

28年度決算額 9,590,598 円 27年度決算額 11,745,988 円
(前年度比増減額 △ 2,155,390 円)

一般管理事業として、水道事業会計への維持管理事務負担金（9,017,000円）、検針委託料（528,696円）などを支出した。

2款 事業費

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 給水事業費	90,636,000	89,162,866	0	1,473,134
	前年度決算額	213,455,590	前年度比増減額	△ 124,292,724

給水事業

28年度決算額 7,933,966 円 27年度決算額 10,130,715 円
(前年度比増減額 △ 2,196,749 円)

簡易水道施設の維持管理を行った。

主な支出は、光熱水費（3,352,053円）、修繕料（3,082,752円）、N T T専用回線使用料（741,349円）である。

基幹改良事業

28年度決算額 81,228,900 円 27年度決算額 203,324,875 円
(前年度比増減額 △ 122,095,975 円)

簡易水道施設の老朽水道管布設替工事跡等の舗装復旧工事を行った。
主な支出は、舗装復旧工事費 (81,198,720円) である。
平成29年4月1日の水道事業への統合までに計画していた改良工事 (河原浄水場改修工事、老朽水道管布設替工事、舗装復旧工事等) については、すべて完了した。

3款 公債費

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 公債費	46,554,000	46,441,719	0	112,281
	前年度決算額	43,613,907	前年度比増減額	2,827,812

元金償還事業

28年度決算額 32,578,527 円 27年度決算額 29,365,156 円
(前年度比増減額 3,213,371 円)

簡易水道事業債の元金償還金として、財政融資資金 (17,972,382円)、地方公共団体金融機構 (14,606,145円) へ支出した。

利子償還事業

28年度決算額 13,863,192 円 27年度決算額 14,248,751 円
(前年度比増減額 △ 385,559 円)

簡易水道事業債の利子償還金として、財政融資資金 (4,680,140円)、地方公共団体金融機構 (9,183,052円) へ支出した。

4款 諸支出金

区 分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 基金費	2,000	0	0	2,000
	前年度決算額	1,215,000	前年度比増減額	△ 1,215,000

財政調整基金積立事業

28年度決算額 0 円 27年度決算額 1,215,000 円
(前年度比増減額 △ 1,215,000 円)

平成29年4月1日に水道事業に統合するため、財政調整基金への積立は行わなかった。

3. 業 務 量

事 項	平成28年度	平成27年度	比 較	
			増 減	比 率
年度末給水人口	1,567 人	1,591 人	△ 24 人	98.49%
一日最大配水量	730 m ³	741 m ³	△ 11 m ³	98.52%
年間配水量	154,899 m ³	178,492 m ³	△ 23,593 m ³	86.78%
一日平均配水量	424 m ³	488 m ³	△ 64 m ³	86.89%
年間給水量	147,788 m ³	150,037 m ³	△ 2,249 m ³	98.50%
一日平均給水量	405 m ³	410 m ³	△ 5 m ³	98.78%
有収水量率	95.41 %	84.06 %	11.35 ポイント	113.50%

4. 市 債 状 況

借 入 先	平成27年度末 未償還元金	平成28年度 借 入 額	平成28年度 償還元金額	平成28年度末 未償還元金
財 務 省	219,488,533 円	0 円	17,972,382 円	201,516,151 円
地方公共団体金融機構	701,244,199 円	56,200,000 円	14,606,145 円	742,838,054 円
市 中 銀 行	0 円	0 円	0 円	0 円
計	920,732,732 円	56,200,000 円	32,578,527 円	944,354,205 円

5. 基 金 状 況

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度 取 崩 額	平成28年度 積 立 額	平成28年度末 現 在 高
財 政 調 整 基 金	5,315,175 円	5,315,175 円	0 円	0 円